

2017年度

■ 授業題目

計算機数学

■ 申請コード

75116

■ 単位数

2

■ 授業種別

講義

■ 履修開始年次

2

■ 履修期間

第1学期

■ 時間割

金3

■ 区分等

平成16年度以降入学生

専門教育) 専門科目

■ ナンバリングコード1

■ ナンバリングコード2

■ ナンバリングコード3

■ ナンバリングコード4

■ ナンバリングコード5

■ ナンバリングコード6

■ ナンバリングコード7

■ ナンバリングコード8

■ 地域関連科目区分

■ COC+Phase

■ 履修における注意点

平成18年度以前入学生は「計算機数学」に読み替える

■ 資格等

教免ー中学校・高校(数学) : コンピュータ

■ 副題

【テーマ(日本語)】

LaTeX, 数式処理

【テーマ(英語)】

LaTeX and computer algebra system

担当教員

担当教員名	所属	電話番号	E-Mail
土基 善文	理学部	非公開	非公開

オフィスアワー

火曜日と金曜日の 10:40から11:30.
予約がある方が望ましい。

学生相談場所

513土基研究室または学生控室

履修希望学生に求めるもの

第1回目から、ノートパソコンを使用するので、調子が悪い場合には修理に出すなど、使えるように準備

教員相互参観授業公開日程

【公開できる週】

全て公開しない

【コメント】

備考

キーワード

LaTeX,数式処理,maxima,ruby

カリキュラムチェックリスト

【授業科目の主題(箇条書)】

数式を含んだ文書を作成するシステム LaTeX の利用法についての理解する

【授業科目の到達目標とカリキュラムチェックリスト】

授業科目の到達目標	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度等
1. LaTeX を用いて、授業のレポートのような数式を含んだ簡単な文書が作成できるようになる。	◎		◎	◎

■ 授業全体の概要

latex を用いて数学の論文等を書けるようになることが第一である。数式処理やスクリプト言語についても少しだけ触れる。

■ 授業時間外の学習

PC に慣れ親しみ、与えられたレポートに対してメールで返信する等のスキルを日頃から身につけること。

■ 授業計画

第1回	授業概要	ソフトウェアのインストールや基本事項の解説
	授業時間外学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第2回	授業概要	ソフトウェアのインストールや基本事項の解説
	授業時間外学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第3回	授業概要	LaTEXの基本

	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第4回	授業概要	LaTEXの基本 数式処理その1
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第5回	授業概要	数式の入力 数式処理その2
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第6回	授業概要	数式の入力 数式処理その3
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第7回	授業概要	より複雑な数式の入力
	授業時間外 学習	次回の授業の予習
第8回	授業概要	より複雑な数式の入力
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第9回	授業概要	文書の整形

	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第10回	授業概要	文書の整形
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第11回	授業概要	LaTEXによる文書の作成
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第12回	授業概要	LaTEXによる文書の作成
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第13回	授業概要	LaTEXによるプレゼンテーションスライドの作成
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第14回	授業概要	LaTEXによるプレゼンテーションスライドの作成
	授業時間外 学習	授業の内容の復習（次回も使うことになるので。）
第15回	授業概要	LaTEXによるプレゼンテーションスライドの作成

■ 関連科目名、関連科目コード番号

■ 教科書・参考書

LaTeXについては教科書として、LaTeX2e 美文書作成入門, 奥村晴彦, 技術評論社を使用する(必携)。また、実習用のプリントを配布する。

■ Webテキスト (URL)

<http://www.math.kochi-u.ac.jp/docky/kogi/>

■ Webテキスト (説明)

講義用プリントの他、必要ソフトウェア(フリー),有用なページへのリンクなどが準備される予定である。

■ 成績評価の方法

授業で行なう実習への取り組みと到達度で総合的に評価する(100%)。

■ パソコン必要度

授業中に必要(毎回必要、但書無し)

【コメント】

最初の授業からパソコンを利用するので、必ず持ってくること。